

2011年11月16日

2011LA オートショーで「SUBARU BRZ CONCEPT - STI -」を公開

富士重工業は、米国ロサンゼルスで開催されている2011年LAオートショー*に、「SUBARU BRZ CONCEPT - STI - (スバル BRZ コンセプト - STI -)」を世界初公開として発表しました。

*開催期間：11月16日～17日プレスデー、11月18日～27日一般公開

SUBARU BRZ CONCEPT - STI - は、トヨタ自動車株式会社と共同開発を進めている新型FRスポーツカー「SUBARU BRZ」のコンセプトモデルです。スバルのコア技術であるボクサーエンジン（水平対向エンジン）の特長を最大限に生かした低重心パッケージが実現する「Pure Handling Delight - 新しい次元の運転する楽しさ」をさらに追求。BRZ のもつ将来の発展性を示すひとつのかたちとして、スバルのパフォーマンスブランドであるSTI をモチーフに、最高のハンドリング性能をイメージしたコンセプトモデルです。



SUBARU BRZ CONCEPT - STI -

【SUBARU BRZ CONCEPT - STI - の主な特長】

<スタイリング>

- ・ ボクサーエンジンを可能な限り低く搭載することで実現した低いエンジンフードと流麗なルーフラインが特徴のエレガントなシルエットに、STI パフォーマンスを象徴するアイテムを織込むことでスバルらしいスポーツカーを表現しました。
- ・ フロントフェイスには、ヘキサゴン型のフロントアンダーグリル、ホークアイモチーフのヘッドライト、フィン形状のフォグランプを採用し、一目でスバルとわかるデザインとしました。
- ・ STI 製フロントアンダースポイラー、リヤのウイング型スポイラーは、ダウンフォースと空力性能を高め、高速走行時の優れた直進安定性とハンドリング性能を実現します。

- ・ 力強く張り出したリヤフェンダー、大型のリヤディフューザー、ツイン・デュアルテールパイプで、STI のもつパフォーマンスイメージを高めました。
- ・ 既に「WRX STI」の一部モデルに採用され高く評価されているカーボンルーフを装着。さらなる軽量化と低重心により、コンセプトカーが目指す、最高のハンドリング性能の実現に大きく寄与します。
- ・ エクステリアカラーには、レーシングイメージを強調した「WR ブルー パール II」を採用しました。

<エンジン>

- ・ ボクサーエンジンがもつ軽量、コンパクト、低重心、高剛性というスポーツカー用エンジンとしての優れたポテンシャルを最大限に活かし、BRZ 専用の 2.0ℓ 水平対向 4 気筒直噴ガソリンエンジンを開発しました。
- ・ ボア X ストロークを 86mm X 86mm のスクエアに設定。トヨタの直噴技術 D-4S（燃料噴射システム）を組み合わせることで、新世代のスポーツカーに相応しい高出力と高い環境性能の両立を図ったエンジンを実現しました。

<シャシー・車体>

- ・ 既存のスバル車に対し、エンジンを約 120mm 低く、また約 240mm 車体中央寄りに搭載することで、世界トップレベルの低重心を実現。さらにカーボンルーフなどの軽量素材の採用や車体骨格自体の軽量化と高剛性化を両立し、ボクサースポーツカーならではの走りの愉しさを実現しました。
- ・ 横剛性に優れた STI チューンのサスペンション、STI 製の軽量 18 インチアルミホイールや高性能タイヤにより、BRZ がもつ卓越したハンドリング性能に更に磨きをかけました。
- ・ ブレンボ製ブレーキを装着し、ブレーキ性能を高めました。

<主な諸元>

全長×全幅×全高(mm) : 4,230×1,800×1,280

ホイールベース(mm) : 2,570

エンジンタイプ : 2.0ℓ水平対向 4 気筒直噴ガソリンエンジン

タイヤサイズ : 215/45R18(フロント)、225/45R18(リヤ)